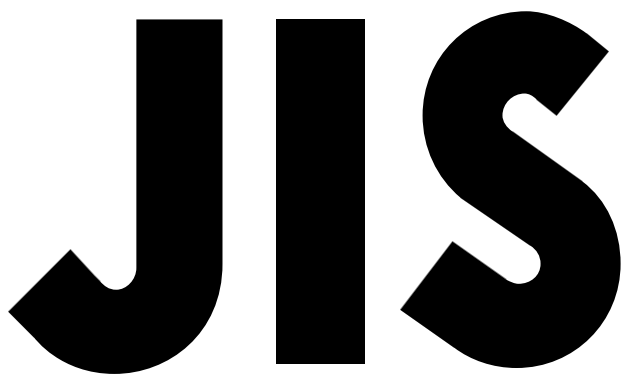




望遠鏡試験方法—第 5 部：透過率

JIS B 7263-5 : 2021

(ISO 14490-5 : 2017)

(JTMA/JSA)

令和 3 年 12 月 20 日 制定

日本産業標準調査会 審議

(日本規格協会 発行)

日本産業標準調査会標準第一部会 構成表

	氏名	所属
(部会長)	酒 井 信 介	横浜国立大学
	(委員) 安 部 泉	公益社団法人日本消費生活アドバイザー・コンサル タント・相談員協会
	市 川 直 樹	国立研究開発法人産業技術総合研究所
	大 瀧 雅 寛	お茶の水女子大学
	奥 野 麻衣子	三菱 UFJ リサーチ&コンサルティング株式会社
	木 村 一 弘	国立研究開発法人物質・材料研究機構
	椎 名 武 夫	千葉大学
	寺 家 克 昌	一般社団法人日本建材・住宅設備産業協会
	清 家 剛	東京大学
	千 葉 光 一	関西学院大学
	寺 澤 富 雄	一般社団法人日本鉄鋼連盟
	渡 田 滋 彦	一般財団法人日本船舶技術研究協会
	中 川 梓	一般財団法人日本規格協会
	奈 良 広 一	長野計器株式会社
	久 田 真	東北大学
	廣 瀬 道 雄	一般社団法人日本鉄道車輛工業会
	藤 本 浩 志	早稲田大学
	星 川 安 之	公益財団法人共用品推進機構
	細 谷 恵	主婦連合会
	松 橋 隆 治	東京大学
	棟 近 雅 彦	早稲田大学
	村 垣 善 浩	東京女子医科大学
	山 内 正 剛	国立研究開発法人量子科学技術研究開発機構放射線 医学総合研究所
	山 田 陽 滋	名古屋大学
	和 辻 健 二	一般社団法人日本自動車工業会

主 務 大 臣：経済産業大臣 制定：令和 3.12.20

官 報 掲 載 日：令和 3.12.20

原 案 作 成 者：一般社団法人日本望遠鏡工業会

(〒179-0084 東京都練馬区氷川台 2-3-1 TEL 03-5398-1687)

一般財団法人日本規格協会

(〒108-0073 東京都港区三田 3-13-12 三田 MT ビル TEL 050-1742-6017)

審 議 部 会：日本産業標準調査会 標準第一部会 (部会長 酒井 信介)

この規格についての意見又は質問は、上記原案作成者又は経済産業省産業技術環境局 国際標準課 (〒100-8901 東京都千代田区霞が関 1-3-1) にご連絡ください。

なお、日本産業規格は、産業標準化法の規定によって、少なくとも 5 年を経過する日までに日本産業標準調査会の審議に付され、速やかに、確認、改正又は廃止されます。

目 次

	ページ
序文	1
1 適用範囲	1
2 引用規格	1
3 用語及び定義	2
4 原理	2
5 試験装置	2
5.1 概要	2
5.2 光源及び集光レンズ	3
5.3 モノクロメータ又はフィルタセット	3
5.4 コリメータ	3
5.5 開口絞り	3
5.6 被検体保持具	4
5.7 ベイリンググレア絞り	4
5.8 積分球	4
5.9 光検出器	4
6 試験手順	4
6.1 試験装置の準備	4
6.2 試験結果	5
6.3 その他の試験方法	5
7 繰返し精度	5
8 試験結果の表示形式	5
9 解析	5
9.1 明所視の実効透過率	5
9.2 暗所視の実効透過率	6
10 試験報告書	6
附属書 A (参考) 光検出器及び測定装置の校正手順	7
附属書 B (参考) 三色係数及び色特性指数	10
解 説	14

まえがき

この規格は、産業標準化法第 12 条第 1 項の規定に基づき、一般社団法人日本望遠鏡工業会（JTMA）及び一般財団法人日本規格協会（JSA）から、産業標準原案を添えて日本産業規格を制定すべきとの申出があり、日本産業標準調査会の審議を経て、経済産業大臣が制定した日本産業規格である。

この規格は、著作権法で保護対象となっている著作物である。

この規格の一部が、特許権、出願公開後の特許出願又は実用新案権に抵触する可能性があることに注意を喚起する。経済産業大臣及び日本産業標準調査会は、このような特許権、出願公開後の特許出願及び実用新案権に関わる確認について、責任はもたない。

JIS B 7263 規格群（望遠鏡試験方法）は、次に示す部で構成する。

- JIS B 7263-1** 第 1 部：基本特性
- JIS B 7263-2** 第 2 部：双眼鏡
- JIS B 7263-3** 第 3 部：ライフルスコープ
- JIS B 7263-4** 第 4 部：天体望遠鏡
- JIS B 7263-5** 第 5 部：透過率
- JIS B 7263-6** 第 6 部：ベイリンググレア指数
- JIS B 7263-7** 第 7 部：分解能限界

望遠鏡試験方法—第 5 部：透過率

Test methods for telescopic systems— Part 5: Test methods for transmittance

序文

この規格は、2017 年に第 2 版として発行された **ISO 14490-5** を基に、技術的内容及び構成を変更することなく作成した日本産業規格である。

なお、この規格で点線の下線を施してある参考事項は、対応国際規格にはない事項である。

1 適用範囲

この規格は、望遠鏡系及び望遠観測機器の透過率の試験方法について規定する。

注記 この規格の対応国際規格及びその対応の程度を表す記号を、次に示す。

ISO 14490-5:2017, Optics and photonics—Test methods for telescopic systems—Part 5: Test methods for transmittance (IDT)

なお、対応の程度を表す記号“IDT”は、**ISO/IEC Guide 21-1** に基づき、“一致している”ことを示す。

2 引用規格

次に掲げる引用規格は、この規格に引用されることによって、その一部又は全部がこの規格の要求事項を構成している。これらの引用規格のうち、西暦年を付記してあるものは、記載の年の版を適用し、その後の改正版（追補を含む。）は適用しない。西暦年の付記がない引用規格は、その最新版（追補を含む。）を適用する。

JIS B 7157 望遠鏡用語

注記 対応国際規格における引用規格：**ISO 14132-1**, Optics and photonics—Vocabulary for telescopic systems—Part 1: General terms and alphabetical indexes of terms in ISO 14132

JIS B 7263-1:2007 望遠鏡試験方法—第 1 部：基本特性

注記 対応国際規格における引用規格：**ISO 14490-1:2005**, Optics and optical instruments—Test methods for telescopic systems—Part 1: Test methods for basic characteristics

JIS Z 8781-2 測色—第 2 部：CIE 測色用標準イルミナント

注記 対応国際規格における引用規格：**ISO 11664-2**, Colorimetry—Part 2: CIE standard illuminants

CIE 18.2:1983 The basis of physical photometry